

# 油ゆ 繩な 子ご

令和元年9月20日

## 第112号

発行 油繩子学区コミュニティ  
推進会調査広報部  
会長 白土敏夫  
事務局 油繩子交流センター  
TEL (38) 7531  
<http://www.net1.jway.ne.jp/c-yunago/index.html>

### 新しい時代の

### 新たな盆踊り大会

八月四日、梅雨明けから続く猛暑の中、納涼にふさわしく油繩子学区盆踊り大会が盛大に開催されました。

令和という新しい時代の到来。油繩子学区の盆踊り大会も、長年親しんだ日立医療センターの駐車場から、交流センターの駐車場に会場を移し新たなものとなりました。

新たな会場への移転は、自前の施設があるのに活用しない手はないということだけではなく、参加してくださる皆様の親近感をより深めるための適当な広さであること、更には実行委員や協力者の皆様方の高齢化に伴い準備などにかかる負担の軽減を図るもの



ゆなご婦人会の皆さん



フラ・アロハの皆さん

です。櫓を囲んでの盆踊りは、世代を超えてふれあいの輪に広がりました。また、コンパクトになった会場は、参加された皆様方の距離感を縮め、より楽しく充実した盆踊りとなりました。

ご参加いただきましたたくさんの方の皆様方、ありがとうございました。また、ご支援ご協力を賜りました関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

(実行委員長 根本 弘道)



去年よりうまくなったよ!

(二頁につづく)



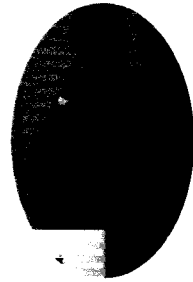
千客万来のお店



親の背中を見て踊ります

(一頁より)

# 健康講演会



今回の健康講演会は、川崎胃腸科肛門科病院の川崎俊一先生に、身近な消化器系疾患である「痔」と「便秘」についてお話しいただきました。

代表的な肛門疾患である痔には、痔核(いぼ痔)・裂肛(切れ痔)・痔瘻(あな痔)の三種類があります。痔を発症する原因は様々ですが、特に急性外痔核は、辛い物を食べた、お酒を飲みすぎた、便秘でいきんだ、汗をかいたなどと冷たいところに座ったなどの後に発症することが多いとのこと。これは薬でだいたいよくなります。

次に裂肛です。急性のものは便が硬い時、反対に下痢の時などにたまに切れるのは誰でもおこります。一過性のものは自然に治癒します。慢性的に切れるものは治療が必要です。

三番目は痔瘻についてです。痔瘻とは、肛門の周りに膿がたまるトンネルで、手術が必要。一言で痔といってもいろいろな種類があり治療法も様々ですので医師とよく相談してほしいとのこと。

次にこれも代表的な消化器系疾患である便秘についてお話しいただきました。

便秘は軽く考えられがちですが、実は治療が必要な病気なのです。特に、排便習慣の急激な変化、予期せぬ体重の減少、血便、五十才以上での発症は大腸癌が隠れているこ

ともあるので特に注意が必要です。

便秘の手術によらない保存的治療法としては、「生活の改善」、「器具を使用した訓練」、「薬での治療」などがあります。「生活の改善」は規則正しい食事、食物繊維の積極的摂取、適度な運動などです。また最近よく耳にする腸内フローラのバランスを整えることも大事です。薬物療法としては、下剤や漢方薬の服用がありますがいずれにしても医師の指示に従って服用することが必要です。

以上まとめますと、痔も便秘も原因は様々で、また逆に他の病気の原因になったりもします。病態、治療法もいろいろあるので医師とよく相談して適切な治療をして欲しいとのアドバイスを頂き閉会となりました。

(櫻村 均)

## 「日立市一斉ラジオ体操の日」

七月二十一日、去年に続き早朝から元気な皆さんとラジオ体操を実施できました。皆さんの御協力ありがとうございました。

筆者も参加して頑張っているお子さんを見て小さい頃夏休みでの早朝のラジオ体操を思い出し懐かしく感じました。

毎年一回ということですが、ふと思い出してラジオ体操をしたと思っています。来年も是非御参加されませう皆さんよろしくお願ひします。

(照井 修)



地域の方々に支えられて

校長 小泉 功



本校は地域の皆様に支えられ、今年で創立五十二年を迎えました。その間、県内唯一の市立特別支援

学校だより  
～日立特別支援学校～

学校として、児童生徒一人一人の教育的ニーズに因應するため、障害特性の理解やその指導法についての研修を

重ね、実践に取り組んできました。今年も、本校の教育目標「自立と社会参加をめざし、たくましく生きていける児童生徒を育てる」の実現のために、全職員が一丸となつて日々の教育活動に取り組んでいます。

近年、障害のある人もない人も、共に力を合わせて創り上げていく社会（共生社会）の実現に向け、様々な取り組みが行われています。教育現場でもインクルーシブ教育（差別や偏見なく共に学び合う教育）に取り組んでいます。

その一つとして、油縄小学校や多賀中学校の児童生徒との学校間交流を行っています。また、中学部では、地域の様々な職業の方に協力いただき「達人に学ぼう」と題した職業体験学習を行っています。和菓子やとんかつ・豆腐づくり、木工制作やフラワーアレンジメント、写真の撮り方やヘッドマッサージなど、様々な職業の体験を通して、

達人の技術への憧れや働く喜び、社会参加への意欲を高めています。八月二十四日には、本校の夏祭り（スマイルフェス）を実施しました。日立桜ライオンズクラブの方々に大きな橋を建てていただいたり、福祉作業所の方々には、たくさんブースを出していただいたりしました。また、地域の高校生や大学生のボランティア協力により、祭りが盛り上がりました。こんなにも地域の方々に支えられ、見守られながら、貴重な体験をさせていただいていることに、心から感謝しています。



スマイルフェスです  
みんな揃って  
踊りましょう！



お菓子づくりは丁寧にね

ゆなご児童クラブ  
子供達との交流会

「こんにちは」元気な声で挨拶してくれたのは、ゆなご児童クラブの一年生から五年生二十九名のお子さん達。

今日は、民生委員児童委員とゆなご児童クラブの交流会。昨年は、スイカ割り大会でしたが今年は福祉体験。三班に分かれて、車イスの安全な使い方を学んでからお互いを乗せて障害物を避けながら歩いたり。

また、目の見えない方の体験では、手をつなぐのではなく相手の肩や腕につかまって歩くのが、一番安全な方法であることも学びました。

子供達から、「真っ暗になつて怖かったけど腕につかまったので安心して歩けた」「今度車イスにおぼあちゃん乗せてあげる」等々の声が聞かれました。

私達民生委員児童委員も楽しく体験でき、子供達と交流できた素敵な時間でした。



目がみえないとコワイ！



車イス体験

ゆなご学区に住む赤ちゃんから年配の方まで民生委員児童委員十三名は、見守っていますので何時でもご相談ください。

(会津 進)

# 子どもの居場所づくり

## 「おはなし会」

おります。

(風間 康子)



ご静聴を！

八月二十二日に生き生き百年塾と共催で幼児・児童・保護者五十四名の参加で実施しました。二人の先生の読み聞かせに子ども達は、静かに聞き入っていました。お話の合間に歌に合わせて楽しい指の体操をしました。続いて、新聞紙でボールとかごを作り、それを使って遊びました。みんな夢中になりあつという間の一時間半でした。



いろいろ工夫しましょう



指の体操は脳を活発に

### 防犯だより

コミュニティ推進会

本年七月下旬頃、学区内での不審者情報がありました。状況は、児童が遊んでいたところ、自転車に乗った男に追いかけられた。

児童たちは近所の知り合いの玄関に逃げ、住人に周囲を確認してもらったところ、男は見当たらなかったため帰宅しました。

児童に被害はなかった。不審者情報の中には、善良な市民が、あいさつや道を聞くつもりで声をかけたが、子どもが恐怖感を感じて不審者として届けられたものなど、子どもの主観的な受け止めによる情報が含まれる場合があります。

大人の方でも不審者を見かけたときは、警察へ一〇番通報をしてください。地域の皆さんの協力をあおぎ、安心で安全な町づくりをしていきましょう！

(照井 修)

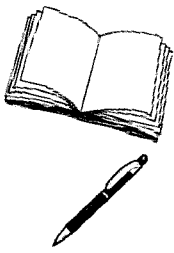
### 編集後記

今年も油縄子学区コミュニティ推進会(交流センター)主催の夏祭り(盆踊り)が無事終了しました。今回は令和で初の盆踊りで、会場を変更するなど新しい試みでした。参加された方々や、関係者の感想や意見を参考に、今後も盛大な楽しい盆踊り開催を期待します。

尚、今後交流センターが主催する各行事の実施については今回の夏祭りを事例に、内容等実情に合わせた見直しが必要な時期と考えます。

暦では立秋も過ぎ交流センターも、後期の各行事を迎えます。これからの厳しい残暑が続くと思われ、皆様も体調に留意し頑張ってください。

(池ヶ谷 義男)



### 油縄子コミュニティ推進会・行事予定(10月から12月)

ステップクラブ	毎月第1・3月曜日	一斉清掃	10月6日(日)
はつらつクラブ	毎月第2・4月曜日	防災訓練・運動会	10月20日(日)
おもちゃライブラリー	毎週火曜日(月3回)	ふるさと再発見ウォーク	10月27日(日)
国分ふれあい茶話会	毎月第4火曜日	違反広告物撤去	11月3日(日)
油縄子ふれあい茶話会	毎月第2水曜日	ゆなご秋祭り	11月10日(日)
親子ふれあい教室	毎月第2金曜日	ゆなごカルタ大会	11月17日(日)
わくわくクラブ	毎月第3土曜日	交流センター休館日	12月29日(日)~1月3日(金)